

# 「全力すぎる 大分県豊後高田市」Vol.9

## ～ 国内初!! 市庁舎へのチームラボ作品展示

### 新年の幕開けとともに 全力魅力発信中 ～

大分県豊後高田市がリリースする「全力すぎる 大分県豊後高田市」Vol.9です。  
豊後高田市の魅力満載情報を全力でお届けします。

#### 【Contents】

■全力発展中な豊後高田市

■チームラボのデジタルアートで創る、永遠の“田染荘”

四季千年神田図 - 田染荘

(Four Seasons, a 1000 Years, Terraced Rice Fields - Tashibunoshō)

#### 【■全力発展中な豊後高田市】

豊後高田市は、平成 27 年 3 月 31 日に新市誕生 10 周年を迎え、新たなブランドコンセプトとして「全力発展中 豊後高田市」を掲げ、ブランドマークを制定しました。

このブランドマークは、まちが全力で挑んでいく「熱気や情熱」を表現しています。

豊後高田市は、市民一人ひとりが何事にも「全力」で取り組み、「夢をかたちに 未来に光り続けるまち」の実現に向けて全力で発展し続けます。



#### 【■チームラボのデジタルアートで創る、永遠の“田染荘”】

作品タイトル 四季千年神田図 - 田染荘

英語 : Four Seasons, a 1000 Years, Terraced Rice Fields - Tashibunoshō

ミラノ万博 (2015 年ミラノ国際博覧会) において、The best display prize の金賞を受賞した日本館での展示作品、NHK 大河ドラマ「花燃ゆ」でのオープニング映像制作などをはじめ、国内外で活躍中の、ウルトラテクノロジスト集団「チームラボ」(代表猪子寿之) による、新たな常設作品の展示が開始されます。

今回の作品では、国の重要文化的景観に選定されており、千年以上変わらず続く景色の「田染荘」を、自然と共生していく人々の営みとともに悠久に続く景色として描いています。

チームラボとしては、市町村庁舎への常設展示は全国で初めてとなり、既に開設中の「チームラボギャラリー真玉海岸」とあわせて、世界基準で評価の高いチームラボ作品が楽しめることとなります。

なお、展示開始当日は、チームラボの猪子寿之代表による、作品紹介も特別に行なわれます。

## 1. 展示開始

平成 28 年 1 月 10 日（日） 14：00～

※14：30～ チームラボ・猪子寿之代表による作品紹介

10 日（日）以降は、開庁時間内であれば自由に観覧可能です。

また、当分の間は、土日祝日でもエントランス左側の自動交付機側からご覧いただけます。

2. 作品コンセプト
- 千年以上変わらず続く景色の田染荘を、自然と共生していく人々の営みとともに悠久に続く景色として描いています。
- 1 日を通して、作品の世界は移ろいます。日の出とともに明るくなり、日の入りが近づくと夕焼けになり、そして、夜が深くなるにつれ、暗くなっていきます。実際の田染荘の日々の日の出と日の入りの時間と連動しています。
- 移り変わる四季に合わせて、景色と人々の営みは変わっていきます。自然の景色が、同じようで、2 度と同じではないように、本作品の次の年の同じ日は、変わらない景色のようで同じ絵ではありません。つまり、今、この瞬間の絵は、2 度とみることができず、永遠に新しい景色が生まれていきます。

## 3. 作品概要

### ① 1 年を通し、田染荘の景色のうつろいを表現

春は水田、夏は緑の稲、秋は収穫前の美しい稲穂、冬は雪景色など、各季節にあわせてそれぞれ特徴的な美しさで表現されます。

### ② 田染荘の永遠と続いていく風景を表現

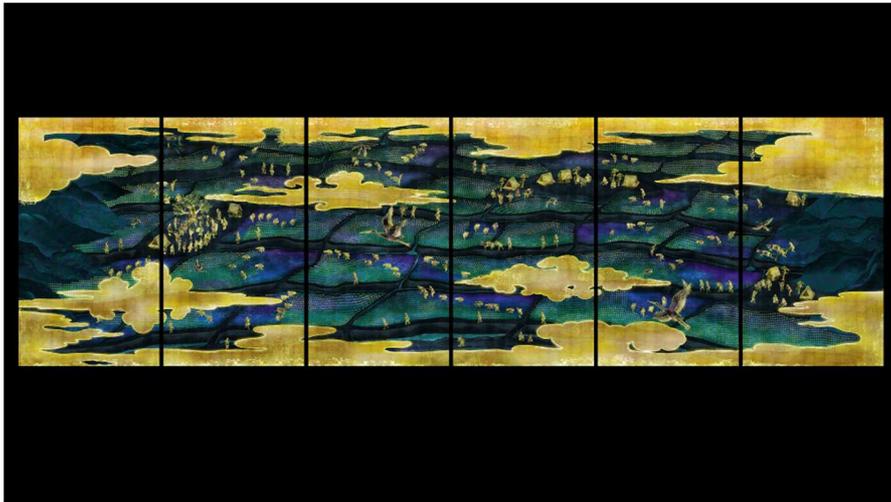
自然も人々の営みも、全く同じ風景である瞬間がないように、作品も、永遠に同じ風景の表現はありません。

### ③ 荘園での農作業などを通じて 1 年の人々の営みや季節の自然のうつろいを表現

田起こし、代掻き、田植え、稲刈り、脱穀などの季節の農作業風景や桜、梅雨、蛍、紅葉、雪などの季節の自然のうつろいが表現されます。

4. 作品サイズ

ディスプレイ : H1, 215mm × W4, 116mm



「四季千年神田図 - 田染荘 /

Four Seasons, a 1000 Years, Terraced Rice Fields - Tashibunoshō」

teamlab, 2016, Digital Work, Endless, 6 channels

※チームラボオフィシャルサイト・作品紹介

<http://www.team-lab.net/all/art/tashibunoshō.html>



※田染荘

宇佐八幡宮の根本荘園として栄え、土地の形状を生かした一枚一枚の形が不揃いな水田など、千年前の当時の姿が現在も継承されている例は、日本でも数少なく貴重な中世荘園村落景観として、平成 22 年に国の重要文化的景観に選定されています。また、平成 25 年には、国東半島・宇佐地域が世界農業遺産に認定され、田染荘はその象徴的な場所としても評価されています。



※チームラボギャラリー真玉海岸

チームラボ作品として国内最初の常設展示場。

展示作品「花と人、コントロールできないけれども、共に生きる - Kunisaki Peninsula」は、豊後高田市の花々がモチーフとなっており、1時間をかけて1年間の花の移り変わりを表現するデジタルアート作品です。

花は鑑賞者との距離によっていっせいに散り枯れたり、生まれ咲き渡ったりし、鑑賞者のふるまいの影響を受けながら変わり続けます。

詳しくは、豊後高田市観光まちづくり株式会社ホームページをご覧ください。

<http://www.showanomachi.com/pickup/>